

女子部・男子部

スキー実習

鈴木祐大

新型コロナウイルスへの感染対策のため、2020年度には実施できなかったスキー実習を21年度より再開した。21年度は前年度に参加できなかった学年も対象とし、2回に分けて実施した。22年度は新カリキュラム移行に伴い、対象学年を女子部・男子部の高等科1年、男子部高等科2年として実施した。

【2021年度】

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、前年度に実施がされなかった女子部高等科2年生、男子部高等科3年生の希望者を対象としたスキー実習が1月に、そして、女子部高等科1年生、男子部高等科2年生のスキー実習が3月に実施された。

1月は、6日～8日に新潟県赤倉観光リゾートスキー場で実施され、女子部高等科2年19名、男子部高等科3年13名が参加した。例年実施されていた2月の時期と比べて積雪が少ない一方で、気温が上がりにくいいため、生徒はこれまでのスキー実習とは違ったスキーを体験することができた。また、夜の時間には、宿の向かいにある雪の壁面に生徒たちが穴を掘り、蝋燭を灯して幻想的な風景を楽しんだ。

3月9～11日、3月17日～19日には、2月に予定されていたスキー実習が延期となったものの、男子部高等科2年32名、女子部高等科1年27名(引率6名)がそれぞれ新潟県赤倉観光リゾートスキー場でスキー実習を体験した。3月となり、気温が上がる日が増えたこともあり、雪をまとった木々は少なくなったものの、春が近づく中でのスキーを経験することができた。

【2022年度】

2022年度は、高等科1年生が新カリキュラムとなったこともあり、1月に女子部・男子部高等科1年生の希望者30名、31名、そして、2月に男子部高等科2年生36名がスキー実習を実施した。

1月のスキー実習は、体育実習の一つとして1月5日～7日、7日～9日に新潟県赤倉観光リゾートスキー場で行った。希望者がスキーコース・スノーシューコースと分かれての実施となった。スノーシューコースは、一面誰も踏み入

れていない雪原をシュノーシューで歩くという、今回からの新しい取り組みで、スキーとはまた違った雪山の魅力を参加した生徒たちは楽しんだ。また、夜は前年に引き続き、雪の壁面に雪灯籠を作り、幻想的な風景を楽しんだ。

2月は20日～22日に新潟県妙高市の赤倉で、男子部高等科2年生がスキー実習を実施した。初日、2日目と大雪の一方、3日目は快晴となり、日々変化する雪山の魅力を感じることができた。

来年度からは、スキー実習は複数学年が対象となることで、スキー技術や自然に対する考えを段階的に深めていくことが期待できる。これからのスキー実習が、自然の偉大さを感じながら、自身の成長を感じつつ、自然との共生を模索するきっかけとなることを期待する。

参考文献

・「スキー合宿 雪山を肌で感じる」『学園新聞』第735号 2023年4月14日。